

区政を聞く 代表質問(要旨)

自由民主党議員団

区民の声をしっかり聴き、区政に反映させていく取り組みを

令和5年度当初予算案

問予算案の編成に当たり、区長はどのような点を重視し、重点施策と位置付けて編成したのか伺う。

答「DCGをさらに推進し、持続可能な葛飾を実現するための取り組みに予算を重点的に配分した。子育て・教育は、特に力を注ぐべき喫緊の課題として捉え、小中学校の給食費完全無償化のほか、出産応援給付金や英語教育の充実など子育て世帯への経済的な支援とともに、教育環境の整備を進める。健康づくり・福祉では、スマートフォンを活用したスポーツや介護予防の事業など、いつまでも健康に住み続けられる取り組みを進める。また、現行制度のほきまにある世帯などが抱える生活上の課題を包括的に受け止めるための取り組みのまると支援体制の強化を図る。災害対応では、災害拠点病院のBCP策定など、有事の際に迅速に対応できる災害に強い街づくりを進める。産業観光では、集客と集客にそれぞれの特徴を生かした観光拠点を整備し、新たな魅力の構築への取り組みを推進する。環境・街づくりでは、新発着貨物線の旅客化の検討や、環境

に配慮したエコ助成の拡充などを実施する。

問用地特別会計に計上した用地取得は今後期待する効果と課題を明らかにし、区民に丁寧に説明していくべきと思うが、区の見解を伺う。



私学事業団総合運動場

答あらゆる年代の区民がスポーツに親しみ、日常生活の中に運動習慣を取り入れることができる環境づくりを推進するため、私学事業団総合運動場の敷地などを現状のまま取得し、当面、区民の利用に供する。サッカースタジアムの整備はスポーツ振興にとどまらず、地域経済を大きく活性化させることにも、大規模避難施設としての防災面や屋上緑化、太陽光発電などの環境面からも大きな効果をもたらす可能性がある。今後、

かつしか区民連合

持続可能な自治体財政運営とアカデミー構想の創設を

令和5年度当初予算案と持続可能な自治体財政運営

問基金高を確保することについての区長の認識を伺う。

答「基金高は、経済変動に伴う財源不足や災害対応、公共施設の将来的な整備や更新などに備えて計画的に積み立てている。今後も公共施設の更新需要や突発的な災害対応などに備え、積極的に各基金への積み立てを行い、計画的に基金高を確保していくことで財政基盤の強化を図っていく。他の質問項目 財政調整基金高の確保 など」

環境施策の推進

問ZEV化を図った庁用車は、できる限り共用化を図るよう一括して車両を管理し、有効活用していく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答「庁用車をより有効に活用していくためには、一括して車両を管理し共用化するのとともに、点検整備などのメンテナンスも迅速に対応する必要がある。そのため、これまでの導入方法や管理方法を検証し、車両の総合管理を含めリース契約を検討するなど、より効率的な運用方法を考える必要がある。」

区政を聞く

自由民主党議員団

区民生活や区内経済の向上に向け地域の実情に即した対策を

区内産業の現状に鑑みた契約制度のあり方

問区内産業支援策として、現在の公契約条例を理念条例から脱却し、実効性のあるものに歩みを進めていくべきと思うが、区長の見解を伺う。

答「自治体では、公契約条例に基づき、公契約における最低賃金を定めている事例もある。こうした先進事例を参考に、関係者の意見を伺いながら、労働者、事業者、区民にとって最も良い取り組みを実施していく。他の質問項目 業務委託の最低制限価格制度の対象拡大 など」

私学事業団総合運動場の敷地を活用

交通環境や騒音対策の課題について、地域住民に丁寧に説明し、意見を伺いながら解決を図り、区議会、地域住民と一体となって検討を進め、地域の誇りとなるサッカースタジアムを整備していきたいと考えている。

問プロジェクトの目的と令和5年度の取り組み内容を伺う。また、今後の展望について、区の見解を伺う。

答「高野・障害・子ども・生活困難などの既存の支援の枠組みを越えて、複合的な課題を抱える世帯について、継続的な支援を行う体制を整備していくことで、令和5年5月以降のまると相談窓口を開設する。今後の展望としては、区民がどの窓口にも相談しても包括的な支援を受けられるように全庁を挙げて進めていく。他の質問項目 職員の人材育成 など」

子育て支援策の推進

問子育ての充実だけでなく、子どもを産むこともそのものを支え、安心して出産できる環境を一層つくり出していきたい。区長の見解を伺う。

答「区独自の産産後支援給付金の支給などにより経済的な支援を行うとともに、さまざまな不安に寄り添い、支援していくため、妊娠時のゆりかご面接を考えを伺う。他の質問項目 環境審議会の組織体制 など」

区内産業の人手不足を解消するため人材確保とアカデミー構想

問区内中小企業の人手不足と人材確保の現状について、区長の認識を伺う。

答「本区では、区民の求職と区内事業者の求人とのマッチングを促進し、と発見アラザがかつしかを設置し、さまざまな取り組みを行っている。このうち、事業者に対しては、求職者の目に留まるよう求人方法をアップデートしているほか、多業種での合同面接会を実施するなど、さまざまな形で支援を行っている。しかし、事業者が求める人材と求職者の間では、資格面や経験差など、乖離が求職者に対する応募が少ない状況が続いていると認識している。このことから、引き続き「ワークと連携しながら、求人・求職活動の支援に取り組んでいく。他の質問項目 伝統産業におけるアカデミーの創設 など」

私学事業団総合運動場の敷地取得

問サッカースタジアム建設については、地域や区民側としては、街づくりの議論はほとんどなされていない状況があり、今後、丁寧に傾聴し、意見をとり入れながら対応すべきと考えるが、区の課題認識と今後の進め方の



私学事業団総合運動場

のつち、事業者に対しては、求職者の目に留まるよう求人方法をアップデートしているほか、多業種での合同面接会を実施するなど、さまざまな形で支援を行っている。しかし、事業者が求める人材と求職者の間では、資格面や経験差など、乖離が求職者に対する応募が少ない状況が続いていると認識している。このことから、引き続き「ワークと連携しながら、求人・求職活動の支援に取り組んでいく。他の質問項目 伝統産業におけるアカデミーの創設 など」

一般質問(要旨)

4面まで続きます

したサッカースタジアムの整備

問地域経済等にもたらす効果を考えて、なるべく早期にスタジアムが建設できるよう検討を進めていくべきと考えるが、区長の見解を伺う。

答「現時点では具体的なスケジュールは示せないが、運動場の施設を区の体育施設に位置付けて区民に利用いただきながら、並行して参考となるスタジアムや建設に携わった自治体を視察して課題を整理するなど、建設に向けた検討を行っている。他の質問項目 スタジアムの区民利用 など」

亀有地域のまちづくり

問亀有地域観光拠点施設整備の現在の状況と、今後の展望について伺う。

答「本年1月に基本設計に係る住民説明会を開催した。令和5年度から6年度にかけて、建築工事及び展示物制作

をはじめとした取り組みを継続し、切れ目のない支援につなげていく。今後も、他自治体に先駆けた革新的な取り組みにチャレンジしていく。他の質問項目 子育て支援策の現状と課題認識 など」

問新型コロナウイルス感染症対策関連経費について、令和5年度当初予算案の編成においては、どのような考え方をもちて編成されたのか伺う。

答「重症化リスクが高い高齢者などへ必要な医療体制を継続しつつ、感染拡大時には、機動的に対応できる体制を維持する必要があると認識しており、当面必要な四半期分の感染症対策の関連経費を計上した。他の質問項目 感染症対策準備品などの準備 など」

犯罪被害を受けた人への支援

問相談窓口の設置をはじめ、各種支援策を設けるなど、被害者への支援を行う条例の制定を検討すべきと思うが、区長の認識を伺う。

答「区民にとって安全・安心して暮らしている地域社会を築いていくためには、犯罪の被害を受けた方が一日も早く平穏な生活を取り戻すことができるよう、東京都や警察などとの関係機関と連携して支援することが重要である。本区に寄せられる相談や他自治体の状況などを踏まえ、被害者に寄り添った支援の在り方を具体化する条例の制定を検討していく。他の質問項目 現在の支援策 など」

葛飾区議会公明党

葛飾区議会公明党

区民生活を支える予算の執行と子ども優先社会の構築を

令和5年度当初予算案

問令和5年度当初予算案は、歳入面では、どのような見通しを持って、また、歳出面では、どのような施策に

日本共産党葛飾区議会議員団

史上最高額の予算なのに区民の願いに寄り添っていない

2023年度予算

問新型コロナウイルス対策については、必要な場合、議会閉会中でも臨時会で対応し、補正予算の速やかな編成が必要かと思うがどうか。

答「感染状況を注視し、時機を逸することなく必要な補正予算案を編成していきたいと考えている。問子育てするなら葛飾区というなら、2歳までの保育料無償化は検討すべき課題だと思いませんか。」

答「国や都の動向を注視しつつ、区独自の子育て支援策の充実を図り、子育て世帯に対する切れ目のない支援を引き続き実施していく。他の質問項目 職員の育成 など」

問令和7年度末の標準システムへの移行完了に向け、十分な体制を構築し計画的に移行を進めていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答「今後3年間で、膨大な移行作業を完了させるためには、十分な業務体制を構築することが重要であるため、人的体制の強化を図るとともに、業務所管とも十分な連携を行い、着実に進めていきたいと考えている。他の質問項目 職員の育成 など」

地域防災力の強化

問葛飾教育の日に、部の中学校で行われている総合防災訓練を他の中学校にも広げていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答「一部の学校で実施している総合防災訓練は、学校が地域と協力して準備を進め、地域防災課の防災啓発コンテナなども活用しながら実施している。今後、新たに他の中学校が取り組むに当たっては、これまでの実践事例を参考に地域の実情に合わせ

力を入れて予算編成されたのか伺う。答「歳入面では、特別区交付金が原資となる市町村住民税法人分の堅調な推移に加え、児童相談所設置に伴う関連事務に係る加算などの増を見込んでいること、また、景気が緩やかに持ち直していることから、特別区税や地方消費税交付金などを合わせた一般財源全体でも増額を見込んでいる。歳出面では、子育て支援・教育環境の充実、子どもを育てやすい環境の整備、教育環境の整備を進め、区独自の子育て支援策を推し進めていく。他の質問項目 感染症対策 など」

問本区における少子化対策への取り組み、その考え方を示されたい。

答「多くの方に住んでみたいと思っていただけの施策を展開して、子育て世代の流入促進と年少人口の増加を図ることが社会に果立っていきまて。子どもが安心して暮らしていくための健やかな育ちを切れ目のない支援していくとともに、子どもたちが変化の激しい社会でたくましく成長して自らの夢や希望を実現できるように、質の高い教育施策を展開していく。他の質問項目 立石駅周辺の公共施設再編 など」

子どもの幸せを最優先するまちづくり

問本区における少子化対策への取り組み、その考え方を示されたい。

答「多くの方に住んでみたいと思っていただけの施策を展開して、子育て世代の流入促進と年少人口の増加を図ることが社会に果立っていきまて。子どもが安心して暮らしていくための健やかな育ちを切れ目のない支援していくとともに、子どもたちが変化の激しい社会でたくましく成長して自らの夢や希望を実現できるように、質の高い教育施策を展開していく。他の質問項目 立石駅周辺の公共施設再編 など」



給食を食べている子どもたち

私学事業団総合運動場の敷地取得

問私学事業団総合運動場の取得に向けた財源対策について伺う。

答「令和5年度当初予算案で、用地特別会計による予算を新たに計上しており、財源の大部分は、特別区債を発行して確保することとしている。今後については、都市計画公園として都市計画決定した後に一般会計で買戻すこととしている。その財源については、国庫支出金のほか、都市計画交付金を予定している。さらに都区財政調整制度において、都市計画交付金の対象となった事業の区負担分については、用地特別会計で発行した特別区債の利子分を含め、その後、4年間にわたり特別区交付金の対象となるため、実質、区の負担は限りなくなくなる。他の質問項目 地域経済効果 など」



私学事業団総合運動場 (日本私立学校振興・共済事業団ホームページより)

問1月30日に調整後の協定案と総務委員会庶務報告からの主な変更点について全議員に情報提供した上で、2月1日に私学事業団と協定を締結したと認識している。他の質問項目 社会教育施設の充実 など」

私学事業団総合運動場の敷地取得

問2月1日に、議会への正式な説明とは異なる協定を私学事業団と締結したことに、手続き上の瑕疵があると指摘しなくてはならない。区民議会に説明もせずに協定を締結するのはあまりに乱暴ではないか。

答「今後とも時々の社会情勢を捉え、必要な支援を行う。問国民健康保険料の値上げについて、物価高騰で区民が大変な時に大幅値上げは到底認められない。特別区長は、到底底意められない。特別区長は、都の財政支出を強く求め、べきと思うがどうか。答「特別区長は、東京都知事に対して、東京都独自に必要な財源措置を特例的に講じることを強く要望した。今後、都の動向を注視していく。他の質問項目 区役所移転 など」

私学事業団総合運動場の敷地取得

問2月1日に、議会への正式な説明とは異なる協定を私学事業団と締結したことに、手続き上の瑕疵があると指摘しなくてはならない。区民議会に説明もせずに協定を締結するのはあまりに乱暴ではないか。答「今後とも時々の社会情勢を捉え、必要な支援を行う。問国民健康保険料の値上げについて、物価高騰で区民が大変な時に大幅値上げは到底認められない。特別区長は、到底底意められない。特別区長は、都の財政支出を強く求め、べきと思うがどうか。答「特別区長は、東京都知事に対して、東京都独自に必要な財源措置を特例的に講じることを強く要望した。今後、都の動向を注視していく。他の質問項目 区役所移転 など」

葛飾区議会公明党

生活上の困り事の包括的支援や子どもの権利擁護の体制構築を

高める必要がある。区の見解を伺う。答：母帯のまるごと支援は、区と地域が一体となり取り組む課題であり、全ての人の健康と福祉を促進する姿勢を内外に示すことは重要である。課題を整理し、条例制定も検討する。

子どもの権利を守る仕組みづくり

問：本区は、本年10月に子どもの権利条例の制定を目指すとのことだが、制定する目的について伺う。

答：保護者、区民等の役割や責務、子どもに関する取り組みの方向性、救済の体制の整備といった内容を明確にし、地域全体で子どもの権利を擁護する体制を構築することである。

新金線の今後の展望

問：今後50年、100年先まで区民に親しまれ、喜んで利用される路線にしてほしいと思うが、区の考えを伺う。



新金線 試乗体験会(細田一丁目付近)

答：スポーツ事業、観光、その他、地域のニーズを踏まえた街づくり全体を盛り上げる取り組みを進めていく。

区民のための総合的な施設整備と特別支援教育の一層の充実

問：どのように公共施設のマネジメントを進めているかと考えているのか。答：公共施設等経営基本方針に基づき、

施設の使われ方や施設状況のチェックを繰り返し、問題点や課題を抽出し改善策の実行につなげる。こうしたマネジメントサイクルを活用し、維持管理や利便性の向上など、適切な施設マネジメントを推進していく。

特別支援教育の取り組み

問：障害のある子どもの将来の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに的確に応じる指導が重要であると考えるが、区の見解を伺う。

答：各学校では、個別の教育支援計画や個別指導計画を作成し、支援に取り組んでいる。教育委員会は、学校が計画に基づいた指導内容の評価を適切に行い、学校と児童・生徒、保護者などが学習状況を共有し効果を高められるよう助言・指導を行っていく。

GX(グリーントランスフォーメーション)の取り組み

問：GXの取り組みの推進について伺う。答：関連法案や技術革新などの動向を注視し、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、区民、事業者との連携を強化し取り組んでいく。

かつしか区民連合

問：GXの取り組みの推進について伺う。答：関連法案や技術革新などの動向を注視し、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、区民、事業者との連携を強化し取り組んでいく。

区個人情報と公文書管理

問：公文書管理条例の制定に向けての見直しを伺うとともに、専門家の関わりについて伺う。

答：公文書に関する規定の点検などを実施しており、令和5年度中にアーキビストなどの専門家からなる準備委員会を設置し、意見を伺い、庁内全体で調整しながら、令和6年度に条例を施行できるように進めている。

※他の質問項目 個人情報取り扱い など

将来を見据えた立石のまちづくり

問：記録・記憶の継承のため、立石駅の図面や地区内の地図の保存、商店の看板や踏切の警報器などをモニタメントとして保存するなど検討してはどうか。



工事が進む立石駅前

答：立石駅の図面や地区内の地図などについては、関係部署の協力を得ながら、文化的価値や所有者の意向などを確認した上で、保存や活用について検討する。

誰一人取り残さない「くらしのまるごと支援」体制

問：ケアラー支援やくらしのまるごと支援体制を位置付ける条例の制定を検討すべきと考えるがどうか。

答：くらしのまるごと支援事業を進める中で、課題を整理し、より効果的な事業となるよう検討を進めていく。

子どもの権利と子ども・子育て・若者支援体制

問：子どもの権利条例制定には、子どもなどの意見を十分に反映させるための取り組みを進め、条例制定後は子どもや子育て支援団体などと協働で子どもを権利保障のための会議などを設置すべきと考えるがどうか。

答：条例案の作成に当たり、子どもなどの意見を改めて聴取し、反映した上でまとめていきたいと考えている。また、各施策における子どもの権利の保障状況について把握し、検証を行う会議体の設置を検討していく。

※他の質問項目 環境政策

誰一人取り残さない学びのための教育環境整備

問：開かれた学校を目指すために学校ごとに校則の検討状況をホームページなどで示すべきと考えるがどうか。

答：各校長に対し、令和5年4月からホームページに校則を掲載するよう指示した。また、各学校に対し、児童・生徒や保護者の意見を踏まえて校則の点検や見直しを行うよう指導・助言を行っている。

子ども読書活動を推進するために子ども読書推進計画の策定などに取り組みすべきと思うがどうか。

答：改定を検討している葛飾区立図書館の基本的な考え方に子ども読書推進計画の要素も取り入れ、さらなる読書習慣の定着・推進につなげていく。

日本共産党葛飾区議会議員団

問：区民生活の不安を解消する区政運営を

新型コロナウイルス感染症等の対策

問：新型コロナウイルス感染症に関する相談や後遺症についての相談窓口は継続、強化すべきと思うがどうか。

答：5類感染症となった以降も後遺症相談を含めた受診相談窓口を継続する。

若者への支援

問：本区の奨学金貸付制度を、思い切った給付型奨学金制度に転換すべきと思うがどうか。

答：現時点では給付型奨学金制度への転換は考えていないが、国や都の動向を注視していく。

※他の質問項目 若者サポートステーションの開設 など

児童相談所

問：夜間の一時受け付けは委託となっているが、職員とすべきと思うがどうか。また、来所は原則電話予約となっているが、来所にも対応できる職員体制とすべきと思うがどうか。

答：職員が受け付けを行う考えや来所対応の窓口開設の想定はしていない。児童の利益確保のための業務は行う。

「葛飾区学校適正規模等に関する方針」等

問：児童・生徒の言葉にすることができない、学校に行かない・行けない理由を丁寧に解きほぐしていく必要があると思うがどうか。

答：本人の希望や願いなども含め、本人に寄り添った支援を行えるよう学校に対し、指導・助言を行っていく。

バス交通

問：循環バス10路線の検討等について、細田循環バスが3年間の試行となっているが、検討ばかりでは住民の足は確保できない。思い切った残り9路線の実証実験に踏み出すべきと思うがどうか。

答：今後ともそれぞれの実情に合わせて、適切な時期に検討を行っていく。

無所属 (※8)

実効性ある制度設計と将来を見据えた事業展開を

問：公契約条例を実効性のあるものにするために、賃金条項を入れることを求める。現在の検討状況と本区の考えについて伺う。

答：本区では、さまざまな契約制度の改正を実施してきた。引き続き先行事例を研究し、関係者の意見を伺いつつ最も良い取り組みを実施していく。

リリオ亀有リノベーション事業

問：2028年度以降、事業をどのようにしていくのか検討はされているのか。されれば、どのような検討がされ、意見が出ているか伺う。

答：来年度に向け、集客が見込める展示の充実や7階共用部のさらなる活用などについて協議を進めている。また、令和10年度以降の在り方は、取り組み効果などを踏まえ、関係機関と協議していく。



リリオ亀有